

中建協会広報

発行所
 一般社団法人秋田中央建設業協会
 発行人
 田中道
 〒010-0951秋田市山王4丁目3番7号
 TEL 018-862-7778
 akenkyo@akenkyo.or.jp
 秋田中央建設業協会 検索

年末年始労働災害防止強調期間 令和4年12月1日～令和5年1月15日

本年度の建設業年末年始労働災害防止強調期間は、建設業労働災害防止協会が主唱して、本年12月1日から令和5年1月15日まで、「無事故の歳末 明るい正月」のスローガンのもとに展開されます。

秋田中央地区の建設業の労働災害は、会員をはじめとする関係者のたゆまぬ努力により、減少を続けてきております。しかしながら本年は、10月末現在の災害統計では建設業の死亡事故が2件となっており、休業4日以上災害も前年より増加傾向にあります。

これから迎える冬期には凍結や降雪に伴う労働災

害や事故が増加することも考えられます。秋田の冬は気候条件が厳しく、例年寒さや雪の影響による災害が発生しており、今後とも気象条件を加味した十分な災害防止対策を講ずる必要があります。

さらに、年末年始には工事が輻輳することもあって、労働災害の多発が危惧されるところです。

このような状況を踏まえ労働災害防止活動の一層の強化に取り組むとともに、現場でのリスクアセスメントの確実な実施と、より快適な職場形成を目指して建設業労働安全衛生マネジメントシステム（ニューコスモス）の導入・運用を図ると共に、働く人の健康の保持・増進に向けて、健康KYやストレスチェックなどの現場のメンタルヘルス対策にも積極的に努められるようお願いいたします。



《会員が実施する建設業労働災害防止対策実施事項》

- ① 経営トップ等による現場点検の実施
- ② 墜落・転落災害の防止
- ③ 建設機械・クレーン等災害の防止
- ④ 倒壊・崩壊災害の防止
- ⑤ 交通労働災害の防止
- ⑥ 火災・爆発等災害の防止
- ⑦ 転倒災害の防止
- ⑧ 不安全行動による災害の防止
- ⑨ 公衆災害の防止
- ⑩ 積雪・雪崩災害の防止
- ⑪ 作業所閉所中の対策
- ⑫ 職業性疾病の防止
- ⑬ 化学物質に関するリスクアセスメントの実施
- ⑭ 現場におけるメンタルヘルス対策の推進
- ⑮ 健康障害防止対策の充実

「合同安全パトロール」実施

秋田労働基準監督署・秋田地域振興局建設部・秋田地域振興局農林部・秋田中央建設業協会

令和4年度建設労働災害防止のための合同安全パトロールが11月2日(水)秋田労働基準監督署2名、県関係14名、県建設・工業技術センター2名、当協会から齊藤副会長始め28名、当日該当の各現場代理人2名合わせて48名が参加して実施されました。

パトロールに先立ち、当協会前において、秋田地域振興局建設部倍賞主任から日程及びパトロール概要の説明後、午後1時10分に2台のバスに分乗して出発しました。

安全パトロールは、次の2工事について実施されました。

- ①流域治水対策河川工事(秋田市)：(株)中山組
- ②道路総合防災対策工事(男鹿市)：藤田建設(株)

現場パトロール実施後、協会に戻り、午後3時40分から当協会会議室において、はじめに秋田地域振興局の近藤雅建設部長並びに当協会齊藤豊隆副会長から、昨年は新型コロナウイルス感染のため中止、2年ぶりの開催となったが、管内では労働災害が多発しており、本日の安全パトロール結果を参考に労働災害防止に尽力願いたいことなどの挨拶の後、4班に分かれて各工事について意見交換を行い、その後各班の代表が良かった点や検討すべき点について発表を行いました。そのうち主な良かった点は、工事範囲内外を区切るロープの設置が良かったこと、作業員のコロナワクチン接種状況を確認しながら作業を行っていて良かったこと、また検討すべき点は、敷鉄板に段差があり注意が必要であったこと、工事箇所脇にコンクリートガ

ラがあり処理が必要であったこと、設置バリケードの位置を再検討すべきこと等の指摘がありました。

次いで、秋田労働基準監督署の袴田第一方面主任監督官から、講評として作業箇所入口に誘導員を配置して良かったこと、水位上昇危険表示が工夫されていて良かったこと、支障木伐倒の際にチェーンソー作業に注意されたいこと、クレーンモードでバックホウ使用の際は切り替えして使用することに留意されたいこと等細かく指導をいただきました。

また、講評後には、山谷安全衛生課長から秋田県の今年度の労働災害発生状況、最近の労働安全衛生についての指導事項等の説明があり、一層の労働災害防止対策を強化頂きたい旨の説明がありました。

以上の内容で午後5時10分全日程を終了しました。



秋田工業高校現場見学会

《土木科》

9月14日(水)秋田工業高校生を対象とした現場見学会を開催しました。

土木科の2年生35名と先生2名が参加し、秋田雄和本荘線水沢橋及び相川工区、新波川、秋田港向浜地区ふ頭用地造成、秋田港アクセス道路の5か所を見学しました。

秋田雄和本荘線水沢橋及び相川工区は、秋田市と由利本荘市を結ぶ幹線道路の機能確保、老朽橋対策、重交通への対応などを目的に橋梁架け替えと狭隘な現道部のバイパス化を行っており、早期供用に向けて現在は橋梁の床版工事及びバイパス部の舗装工事を行っています。

生徒は施工中の橋梁床版の上を渡り、工事進捗状況を確認したり、舗装工事の説明を受け、施工規模の大きさや最新の土木技術に関心を寄せていました。

また、新波川では生徒全員がICT機械、ドローンについての基本的な操作を学びました。

午後からは、秋田港向浜地区のふ頭造成を見学し、防波堤工事や埋め立て工事の状況の説明を受けました。

最後に、本格的な工事はこれからですが、秋田の今後の物流・観光のカギとなる、秋田港アクセス道路の工事内容や今後のスケジュールについての説明があり、現場見学を無事終了しました。



《建築科》

11月20日(火)秋田工業高校生を対象とした現場見学会を開催しました。

建築科の2年生32名と先生4名が参加し、運転免許センター建築工事、新複合化相談施設(仮称)建築工事、秋田芸術劇場の3か所を見学しました。

台風14号の影響により、秋田プライウッド(株)の工場見学は中止となりましたが、午前中は運転免許センターの建築現場を訪れ、進捗状況やパースによる完成予想図の説明を受けました。

午後には来年3月に完成予定の新複合化相談施設についての設計コンセプトや、現在の進捗状況の説明があり、施設内の見学後、代表者2名がテレビ局や新聞社から今後の進路や建築の魅力などについてインタビューを受けました。

最後に、6月23日にプレオープンしたあきた芸術劇場「ミルハス」の施設見学では、高い音響性能やステージ機能を持つ大ホールと、秋田を代表する幅広い芸術活動の拠点となる中ホールを特別に見学させていただきました。

秋田の伝統工芸品が使用された館内意匠デザインに感動しながら見学会を無事終了しました。



秋田産業安全衛生大会

10月3日(月)秋田芸術劇場ミルハスにおいて第69回秋田産業安全衛生大会が行われ、当協会会員事業所が長年にわたり労働災害防止及び職場の環境改善に関して積極的な活動を展開してきた功績を認められ、表彰されました。

建設業労働災害防止協会秋田県支部長賞
《事業場賞》株式会社 セコー
《個人賞》職長賞 渡部 一樹氏
(加藤建設株式会社)



金足農業高校へ測量機器等贈呈

当協会は建設業への若年労働者の入職及び育成を図るとともに、建設産業の社会的向上や建設業への認識を深めていただくことを目的に、測量実習に役立ててもらおうと11月1日、加藤会長立会いのもと、金足農業高等学校環境土木科に自動レベル3台、三脚3台を贈呈しました。

加藤会長は「建設業の人材確保・定着のためには、高校での実践的な授業と業界の環境整備が必要」と述べ、協会をあげて今後の担い手確保・人材育成のために尽力していくことを松田校長に伝え、松田校長からは「県予算が厳しい中、今回の寄贈は大変ありがたい。測量は建設工事の基本であることから、生徒の技術力の定着・向上に役立てたい」と感謝の言葉を頂きました。



全国建設業労働災害防止大会

第59回 全国建設業労働災害防止大会が10月6日(木)、7日(金)の2日間、石川県のいしかわ総合スポーツセンター他で開催され、当協会から雇用・安全委員長及び事務局長あわせて6名が参加しました。

大会初日は、現場の災害防止に努めた会社や個人などが表彰され、株式会社 寒風 菅原廣悦氏が功労賞(個人)を受賞しました。続いて、大会実行委員による「安全の誓い」が宣言され、その後、講演が行われました。



SAFETY2022 東北地方工事安全施工推進大会

東北地方工事安全施工推進大会(SAFETY 2022)では、毎年安全施工に貢献した現場代理人の表彰を行っております。この度優良企業(現場代理人)表彰として、秋田県からは10名が表彰されました。今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえ、各県単位で表彰式を行うこととなり、秋田県では10月12日(水)午後2時から秋田地方総合庁舎5階会議室にて表彰式が行われ、当協会からは株式会社 加藤建設 佐伯美空氏(地方道路交付金工事)、株式会社 セコー 畠山孝治氏(高岳地区農地集積加速化基盤整備工事)の2名が表彰されました。

